

POCKET
DIARY



A

號

昭和十六年

ポケット日記



MADE IN JAPAN



停

¥1.30



昭和
十六年
和

ポケット
日記

A

博文館

昭和十六年要記

Vertical columns of faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

一月



こんじきの艦の御紋や初明り

草城

重要記事

Vertical columns of handwritten Japanese text, including the characters '増' and '開'.



所感	曆木 巳丁	日 九 月 一	月二十 日三十	時事
	氣天 晴	豫 記	暖寒	
犬アト公孔ノ教歩 コウウニ帰 コト不 知 ル ン				<p>方正体定則之九日あり其時今世に公已、治コラナシ 一丁の増進問題ニシテ多カク確カニ存スルノコトカクモカ 増進ニシテ又此ニ定章化スル事ニ極力促シテ万計リ 改定必要コト要山ノコトあり世多クニ見事ナシ 少年ニ入レテ其時其時ニハナリテ和色ノコトノ経地 不明ビコト其れノコトカ何カカコト不明調カ口 極力其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ ビコトノコトカ 其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ 其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ 定進業スリ想進スルニ進業ノ何カカカカカカカカ 下カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ</p>

所感	曆金 午戊	日 十 月 一	月二十 日三十	時事
	氣天 曇 雨	豫 記	暖寒	
				<p>高正体定則之九日あり其時今世に公已、治コラナシ 一丁の増進問題ニシテ多カク確カニ存スルノコトカクモカ 増進ニシテ又此ニ定章化スル事ニ極力促シテ万計リ 改定必要コト要山ノコトあり世多クニ見事ナシ 少年ニ入レテ其時其時ニハナリテ和色ノコトノ経地 不明ビコト其れノコトカ何カカコト不明調カ口 極力其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ ビコトノコトカ 其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ 其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ其れノコトカ 定進業スリ想進スルニ進業ノ何カカカカカカカカ 下カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ</p>

所感	月二十廿七 日七	日 四 十 月 一	曜火 戌壬	時事
				氣天 晴
				豫記
<p>是日多北 十日此如人 小ころ先中 佳時、行く 恒業之ゆゑ、強々一可くも 既少なきも、強々 一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 此の所地、知り、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 全、大場、一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 別、大場、一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 帰 野定、子、在、大、田、後、ノ、ウ、シ、ス、ヲ、百、中、セ、向、ス、分、野、定、此 ノ、刊、モ、口、紀、モ、土、未、ナ、キ、ナ、リ、水、定、一、ツ、カ、レ、リ 覺、ス、也</p>				

所感	月二十廿六 日六	日 三 十 月 一	曜月 酉辛	時事
				氣天 晴
				豫記
<p>是日多北 十日此如人 小ころ先中 佳時、行く 恒業之ゆゑ、強々一可くも 既少なきも、強々 一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 此の所地、知り、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 全、大場、一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 別、大場、一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々一可くも、強々 帰 野定、子、在、大、田、後、ノ、ウ、シ、ス、ヲ、百、中、セ、向、ス、分、野、定、此 ノ、刊、モ、口、紀、モ、土、未、ナ、キ、ナ、リ、水、定、一、ツ、カ、レ、リ 覺、ス、也</p>				

○ 満月 後八時四分 七の巳月 北は二、五、九、一、四、結、多、五、能、一、先、先、三人、の、名、在、不、揚、道、及、し。

所 感	月二十日 日二十二	日九十月一	曜日 丁	時 事
				氣天 晴
				豫 記
<p> 夜の静けさ、心は静かに寝る。朝の光が窓から射し、空気が清々する。昨日の出来事、今は忘れてしまいたい。静かに過ごす。 </p>				

所 感	月二十日 日二十二	日十二月一	曜日 戌	時 事
				氣天 晴
				豫 記
<p> 夜明けの静けさ、心は静かに寝る。朝の光が窓から射し、空気が清々する。昨日の出来事、今は忘れてしまいたい。静かに過ごす。 </p>				

大寒 後七時三十四分 (下迄) 後七時一分

時事

木 辛 未

一 月 二 十 三 日

萬 曆 二 十 六 年 十 月 六 日

所感

所感 之の船居りし始末の詳は後記にす

豫記

色多き... 折立... 玉... 下... 所... 井... 札... 悦...

既而... 之の船居り... 折立... 玉... 下... 所... 井... 札... 悦...

時事

金 壬 申

一 月 二 十 四 日

萬 曆 二 十 七 年 十 月 七 日

所感

豫記

今... 人... 昔... 今... 昔... 今... 昔... 今... 昔...

今... 人... 昔... 今... 昔... 今... 昔... 今... 昔... 今... 昔... 今... 昔... 今... 昔... 今... 昔...

時事

月 乙
臘 亥

日 七 十 二 月 一

正 舊元
月 日

所感

氣天 晴

暖寒

豫記

Handwritten notes in the top section of the right page, including the characters '晴' and '豫記'.

Main handwritten text on the right page, starting with '是所也... 是所也... 是所也...'.

時事

火 丙
臘 子

日 八 十 二 月 一

正 舊二
月 日

所感

氣天 晴

暖寒

豫記

Handwritten notes in the top section of the left page, including the characters '晴' and '豫記'.

Main handwritten text on the left page, starting with '是所也... 是所也... 是所也...'.

Vertical handwritten notes on the far left margin of the left page.

時事

金 臘
巳 卯

一月三十日

正月初五日

所感

晴天
暖寒

豫記

雪
予何ん
大の雪や七九の飛り
戸の雪や石の隙
ふらふらと風が吹く
おしやめん
依りて雪か、城跡
中やまら大

定例の雪のりすた、此れ此れ、由こり、予が雪合し
信州の雪のりすた、此れ此れ、由こり、予が雪合し
知り、此れ此れ、由こり、予が雪合し
其のり、此れ此れ、由こり、予が雪合し
工補、此れ此れ、由こり、予が雪合し
勿り、此れ此れ、由こり、予が雪合し
予、此れ此れ、由こり、予が雪合し
永、此れ此れ、由こり、予が雪合し
申、此れ此れ、由こり、予が雪合し
此れ此れ、由こり、予が雪合し

二月



うつくしき田舎の鶏とりや探梅行たんばいこう

小提灯

重要記事

望城疏傳
塔更下竹疏之
竹葉下竹疏之
住宅向題碑

滿洲國皇帝御誕辰(萬壽節)

所感	日 六 月 二					曆木 乙酉		時事
						天氣		
						豫	晴	南 晴
						記	風	
	<p>此日は土曜日の為には午前10時迄に遊びに来た 正午には心ゆく先日の金子と併せに友人 が遊びに来たので、午後は少しづつ遊びに 出かけた。午後は少しづつ遊びに 出かけた。午後は少しづつ遊びに 出かけた。</p>							

所感	日 五 月 二					曆木 申甲		時事
	五月					天氣		
						豫	晴	晴
						記	風	
	<p>昨日は雨に降られ、午前中から午後まで 雨に降られた。午前中から午後まで 雨に降られた。午前中から午後まで 雨に降られた。</p>							

二の午 日出 六時二十九分 日没 五時二十二分

時 事		曜 土		日 五 十 月 二		正 舊		所 感	
氣天		午 甲		月 日		月 日		由	
晴		豫		記				<p>此川に於ては、時不暇なり是の如くして、 幸なり岩田、田上、上野、高野、木下、 木下、竹、山、池、山、山、山、山、 正午、高野、山、山、山、山、山、 下、山、山、山、山、山、山、山、 其日、悪く表入 十二の比、山、山、山、山、山、山、 此の山、山、山、山、山、山、山、 夜、山、山、山、山、山、山、山、 己、山、山、山、山、山、山、山、 信、山、山、山、山、山、山、山、</p>	

時 事		曜 日		日 六 十 月 二		正 舊		所 感	
氣天		未 乙		月 日		月 日		由	
晴		豫		記				<p>此の山、山、山、山、山、山、山、 入、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、 此、山、山、山、山、山、山、山、</p>	

ノミ、山、山、山、山、山、山、山、

十日
字の部とある(物)ころ甚なる所一可きなる花
と成致地り見ふと物達知りて一同一のこ
と括まりてとる方子程ある。のん、事所らり
のり程本に物命花経るに正のり、如へ甚公り
向この約迄の事ふしとて公談皆から由のり
程のころん現十種とて、とて極りの甚痛久候と由
の全をウケらへる物さう、の結導らるんか、さうせん事
皆かして常力が、つ勝りゆへとてかう長
今取ゆえり、南極り、りり、る、さ、あ、る
トと、り、る、

所 感	舊曆正月十七日	二月二十日					土 辛 丑	時 事
							天氣 豫 寒	
<p>Blank space for weather and events.</p>								

所 感	舊曆正月十六日	二月二十一日					金 庚 子	時 事
							天氣 豫 寒	
<p>Blank space for weather and events.</p>								

時事

木丙 午

二月十七日

二 舊二 月日

所感

晴

豫記

天候
暖寒

六の正体定知、これれ、時号多様生、その御座り
 注書を、その、取筆、して、信志、其、
 人の、その、
 指合、その、
 白石、その、
 山、その、
 空、その、
 9、その、
 管、その、
 由、
 其、その、

時事

金丁 未

二月二十八日

二 舊三 月日

所感

雨

豫記

天候
暖寒

是、その、
 其、その、
 手、その、
 之、その、
 人、その、
 上、その、
 其、その、
 其、その、
 其、その、
 其、その、

花即己故声原纳格如家

上 曜 申 戊 三 月 一 日 舊 四 月 二 日

天 氣 豫 記
天 氣 涼
暖 寒

史跡のふたつをめぐり、あつり定例のふたつを
一日に祝文神也、備知り、う、う
ふたつ、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり
あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり
あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり
あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり
あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり、あつり

新洲國建國日 日出 六時十二分 日没 五時三十六分

所感

二月二十八日



三月

春寒や庭にも下りぬ懐手
大岡龍男

重要記事

望環確係
増員方針
作業方針
住定尚題

時事

氣天
重雨

暖寒

豫記

ノリカクムカフ
カクワレムカフ
降し雨の年決定
の地々々

日 三 月 二 日 舊五

所感

云々甲迄来記名後秋物ニ行ハ指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ
指言シテ又外指言シテ大指言シテ

時事

氣天
曇夜晴

暖寒

豫記

日 三 月 三 日 舊六

所感

是訓と此等水一の流也能同
事のり手取之也
上可例ノカクムカフ
川迄ノ重雨又ニ多ク
カクワレムカフ
降し雨の年決定
の地々々

雜察

所感	火曜	三月四日	天候	時事
	辛亥	舊七月二日	暖寒	
豫記				
<p>今日の朝は、昨日の夜と違って、冷え込みが激しく、風も強い。午前中は曇りがちで、午後には雨が降った。気温は低く、体感も冷たい。夕方になると、少し暖かくなるが、夜はまた冷え込む。明日は晴れ間があるかもしれないが、引き続き寒そうだ。</p>				

所感	水曜	三月五日	天候	時事
	壬子	舊八月二日	暖寒	
豫記				
<p>今日の朝は、昨日の夜と違って、冷え込みが激しく、風も強い。午前中は曇りがちで、午後には雨が降った。気温は低く、体感も冷たい。夕方になると、少し暖かくなるが、夜はまた冷え込む。明日は晴れ間があるかもしれないが、引き続き寒そうだ。</p>				

八せん 通る 通る 通る

あつちのこゝろを ながめて

所感	丑	交	木	臘	三	月	六	日	九	廿	月
	氣天	晴	豫	記	時事						
<p>定例の公事は、今日より、月を過ぎ、本朝の公事も、 已成せしむ。 八日、公事人等、指印を計り、書院に出る可し、 量取の上、指印、如く、言上、今日、公事、 十時、午後、九時、是れ、久し、指印、公事、中、 二、八時、日の、迄、一、時、十時、物、上、八時、 定、三、書、店、の、日、の、公、事、也、也、後、二、時、指、印、の、梅、 子、多、不、而、石、天、之、公、事、也、也、時、可、自、動、不、 公、事、物、也、一、物、制、一、件、一、日、迄、公、事、也、也、 公、事、物、也、一、物、制、一、件、一、日、迄、公、事、也、也、 公、事、物、也、一、物、制、一、件、一、日、迄、公、事、也、也、</p>											

所感	寅	甲	金	臘	三	月	七	日	十	廿	月
	氣天	雨	豫	記	時事						
<p>定例の公事は、今日より、月を過ぎ、本朝の公事も、 已成せしむ。 八日、公事人等、指印を計り、書院に出る可し、 量取の上、指印、如く、言上、今日、公事、 十時、午後、九時、是れ、久し、指印、公事、中、 二、八時、日の、迄、一、時、十時、物、上、八時、 定、三、書、店、の、日、の、公、事、也、也、後、二、時、指、印、の、梅、 子、多、不、而、石、天、之、公、事、也、也、時、可、自、動、不、 公、事、物、也、一、物、制、一、件、一、日、迄、公、事、也、也、 公、事、物、也、一、物、制、一、件、一、日、迄、公、事、也、也、 公、事、物、也、一、物、制、一、件、一、日、迄、公、事、也、也、</p>											

時事

土曜 乙 9P

三 月 八 日

十月三日

所感

天気 晴
寒暖 記

朝顔よりハロニテ方々論云
 生田氏午前中某羽布ノ物 土井ノ方々論云
 文竹者ヨク玉崎ノ物ニ名ハルコトモモ生田氏
 口述ヨリ月曜日コト所方分回着ハ生田氏ヨリ
 又、ヨクニ指北ハ果生田氏ニモ生田氏ヨリ
 二人共評せん
 明後、学師ヨリハトノエテ云々
 現今ノ文竹者型ニ物ノ物ノ物ノ物ノ物ノ物
 何れヨクニ生田氏ヨリハトノエテ云々
 又、ヨクニ指北ハ果生田氏ニモ生田氏ヨリ
 生田氏ヨリハトノエテ云々

時事

日曜 丙 辰

三 月 九 日

十月三日

所感

天気 快晴
寒暖 記

高起床起孔ニ多礼ハルコト所方々論云
 今、和銅造智多ノ、返書リヨクニ生田氏
 生田氏、在コトモモ生田氏ヨリハトノエテ云々
 又、ヨクニ指北ハ果生田氏ニモ生田氏ヨリ
 生田氏ヨリハトノエテ云々

時事

月 三
日 丁

氣天 晴
暖寒 記

三 月 十 日

三 日 十 月

所 感

予 妻 少 ト 事 々
此 等 全 然 不 同 多 々

史記是地... 此の事... 予の... 妻の... 少ト事々... 此等全然不同多々... 予の... 妻の... 少ト事々... 此等全然不同多々... 予の... 妻の... 少ト事々... 此等全然不同多々...

時事

火 曜
戊 午

三 月 十 日

二 日 十 月

所 感

氣天 星
暖寒 記

予 妻 少 ト 事 々
此 等 全 然 不 同 多 々

史記是地... 此の事... 予の... 妻の... 少ト事々... 此等全然不同多々... 予の... 妻の... 少ト事々... 此等全然不同多々...

日出 五時五十二分 日没 五時四十九分

所感	日 三 月 十 六 日	日 癸 文	時 事
	月 二 九 舊 十	氣 天	豫 晴
		暖 寒	記
<p> 六時政体改定後の便の進歩の同様に 考へて冷とひくさるる一ニツイテ 重治入格の社司の己の行爲の 咄かつてせらるる事ありし カツテテ平のフエス一ツ所定 乙卯年御新金言の事ありし 金言の御新金言の外 如レレカ事集りし 殿と存する様 極先一寸唯 一ツ所定 </p>			

所感	日 三 月 十 七 日	月 甲 子	時 事
	月 二 十 舊 二	氣 天	豫 曇
		暖 寒	記
<p> 出刊の地 多敷の 勿トト候 御指習 行、之 其の 二時 其の 夜市 </p>			

下弦 前十一時五十一分

所感	月二 舊 日三十	日十月二						臘木 丁	時事
	9P							天氣	
								晴	
								豫	
								記	
								暖寒	

終天行 此等行全テ揚々揚々ト然ラズ
 少ナク極楽極楽ト云ヒ世々大東鳴也地々ト曰
 下下信ト行却セテトコトナクハ強久
 事勿リ其前未ダ知地師ハ
 畫一布施ヲコレコトナク少毒カ多ク是リト
 相談トシテ今一故ヲイテ業ヲせんハト云ク事也
 工難クハ夜夜ト云ウヤ々々ト云フハト云ク

所感	月二 舊 日四十二	日一月二						臘金 戊	時事
								天氣	
								晴	
								豫	
								記	
								暖寒	

無可ク此後物ハ山寺極クハ昨日今般指有ヤ事
 行々々々ト云フハ此ノ中ノハト云フコトナク
 人の口ト云ハ意者ト云フ事ハ何ヤ事ト云フ
 比レハ今日ト云フハ此ノ中ノト云フ事ハ何ヤ事ト云フ
 是レノ中ノト云フハ此ノ中ノト云フ事ハ何ヤ事ト云フ
 世々ト云フハ此ノ中ノト云フ事ハ何ヤ事ト云フ
 上レハ此ノ中ノト云フ事ハ何ヤ事ト云フ
 此レハ此ノ中ノト云フ事ハ何ヤ事ト云フ
 此レハ此ノ中ノト云フ事ハ何ヤ事ト云フ

春季皇靈祭 春分 前九時二十一分 社日 日出 五時四十四分 日没 五時五十三分



時事

木 癸
酉

三月二十六日

二月十九日

所感

晴

暖寒

豫記

引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山

見事、用事、
日蓮坊、
此土、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、

時事

木 甲
戌

三月二十七日

二月二十日

所感

晴

暖寒

豫記

引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山
引く、高き山

見事、用事、
日蓮坊、
此土、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、
松の、

新月 前五時十四分

時事

金 乙 乙

天 晴 暖寒

豫 記

夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、

所感

日 三 三 三

日 八 十 二 月 三

夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、

時事

土 丙 子

天 晴 暖寒

豫 記

夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、

所感

日 三 三 三

日 九 十 二 月 三

夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、
 夕珍、先日の日記、

所感	三月三日				時事
	日	三	月	四	
					天候 晴 暖寒
					豫記
					<p>是日、教壇より、 中より、 一、 二、 三、 四、 五、 六、 七、 八、 九、 十、 十一、 十二、 十三、 十四、 十五、 十六、 十七、 十八、 十九、 二十、 二十一、 二十二、 二十三、 二十四、 二十五、 二十六、 二十七、 二十八、 二十九、 三十、</p>

所感	三月三日				時事
	日	三	月	四	
					天候 晴 暖寒
					豫記
					<p>是日、 一、 二、 三、 四、 五、 六、 七、 八、 九、 十、 十一、 十二、 十三、 十四、 十五、 十六、 十七、 十八、 十九、 二十、 二十一、 二十二、 二十三、 二十四、 二十五、 二十六、 二十七、 二十八、 二十九、 三十、</p>

所感	三九	日	月	四	曜	時
	未				土	
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	天
						雨
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	寒
						記
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	天
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	寒
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	記

天明後一時二十六分 上弦前九時十二分

所感	三九	日	月	四	曜	時
	未				土	
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	天
						雨
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	寒
						記
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	天
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	寒
〇	カ	イ	ヨ	コ	ト	記

多
月 始末ノ先ナリシ中ニ至ルル如ク言ヒテ極クツセニ方シラズ

所感	舊曆		西曆		時事	
	日	月	日	月	天候	時
	三	七	乙	四	晴	豫記
	日	月	日	月	暖	寒

所感	舊曆		西曆		時事	
	日	月	日	月	天候	時
	三	六	乙	四	晴	豫記
	日	月	日	月	暖	寒

釋尊誕生會

所感	曆火 丙戌	日 八 月 四				時 事
		舊十	三	二	月	
所感	氣天 丙戌	豫	記	暖寒		時 事
				豫	記	
				<p>中之寒介のりるか又気のよか子 定訓先方お細心し 為訓二十日午のつら知るを 既今一晩凍る事 此山ぬくよし午定一寒 電強なり人 既守地は電氣の石 暖平ふ草葉入し 函徳ん</p>		

所感	曆木 丁亥	日 九 月 四				時 事
		舊十	三	三	月	
所感	氣天 丁亥	豫	記	暖寒		時 事
				豫	記	
				<p>既進新しん 又指りし一 正身野充 切美 百 申 が 明 申 中</p>		

時事

月 壬辰

日 四 十 月 四

日 三 八 十 月

所 感

気天
曇り

暖寒

豫記

友伸也、時令ノ席
ノ、ノ、ノ、ノ、ノ

今之時ヲワケガ、ア、ハ、ウ、ビ、ウ、ナ、カ、ク

己方ノ、ア、衣、己、ノ、三、里、取、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

民、何、稱、カ、善、ク、ノ、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、何、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

改、心、テ、ス、ル、カ、義、ヲ、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

信、心、向、題、上、ル、中、ニ、イ、ハ、己、方、也

信、心、向、題、上、ル、中、ニ、イ、ハ、己、方、也

信、心、向、題、上、ル、中、ニ、イ、ハ、己、方、也

信、心、向、題、上、ル、中、ニ、イ、ハ、己、方、也

信、心、向、題、上、ル、中、ニ、イ、ハ、己、方、也

信、心、向、題、上、ル、中、ニ、イ、ハ、己、方、也

時事

火 曜
日 巳

日 五 十 月 四

日 三 九 十 月

所 感

気天
晴

暖寒

豫記

信ハナ、ハ、一、切、了
レ、ハ、一、切、了

信ハナ、ハ、一、切、了
レ、ハ、一、切、了

信ハナ、ハ、一、切、了
レ、ハ、一、切、了

信ハナ、ハ、一、切、了
レ、ハ、一、切、了

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

此、信、心、ノ、極、也、イ、ハ、己、方、也

日出 五時八分 日没 六時十四分

所感 日六十月四 木 壬 午 甲

豫記 氣天 晴 暖寒

Horizontal lines of handwritten text in cursive style.

所感 日七十月四 木 乙 未 乙

豫記 氣天 晴 暖寒

Horizontal lines of handwritten text in cursive style.

下弦 後十時三分

時事

ユルニスルヤ返之獨字ノ事ニ並條件降伏ノ向射為儀トシテ

氣天
星、小
暖寒

豫記

此取整う事ハ四年ニ由り行方廻りト定執細所
ノ切立ヲナス 若明ノ、物合情又事ニ

切立事ハ作中ノ人
其ノ年ニ由りて其の由止此ハ、カカラフイナク

此由明カテテ年カ甘ク、アテテテテテテテテテテテ

セテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

所感

月三 日二十二

日八十月四

金 申 丙

時事

豫記

暖寒

記

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

時事

氣天

星、小

暖寒

豫記

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

所感

月三 日二十二

日九十月四

曜 土 酉

時事

豫記

暖寒

記

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

設雨 後八時五十一分

所感	日 戊	月 三 舊 日 四 十二	日 十 二 月 四	時 事
	豫	氣天	記	晴
		暖寒		
<p>高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 日影の陰の影を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所</p>				

所感	日 巳	月 三 舊 日 五 十二	日 一 十 二 月 四	時 事
	豫	氣天	記	晴
		暖寒		
<p>高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 日影の陰の影を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所 高の北の向の山を仰ぐ所の之を仰新の山を仰ぐ所</p>				

時事

臘火

日 二 十 二 月 四

舊曆三月十六日

所感

豫記
あけの日のさうりつを
ふらふらとあつちあつち
くあつちあつちとせびり
りくくくくくくくくくく
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち

この頃迄は、先づいかに
三人のつづき、つづき
に、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき

時事

水辛

日 三 十 二 月 四

舊曆三月十七日

所感

豫記
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち

この頃迄は、先づいかに
三人のつづき、つづき
に、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき
つづき、つづき、つづき

日七十二月四 日 乙 時事

所感
氣天
豫
記

六甲起... 丙... 重... 高... 工... 全... 一...
六甲起... 丙... 重... 高... 工... 全... 一...

月最遠孔子祭

新月 後十時二十三分

日六十二月四 日 甲 時事

所感
氣天
豫
記

定... 秋... 二... 中... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...
定... 秋... 二... 中... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

時

月 丙
日 午

四 月 八 十 二 月 四

日 四 舊 三

所 感

事 福家ガワレヤ昔現アテ不入城入

氣天
星 曜
記

豫 記

今日可々暑しかりけり
云々由
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の

山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の

時

日 四 舊 三
日 午

四 月 九 十 二 月 四

日 四 舊 三

所 感

氣天
星 曜
記

豫 記

今日可々暑しかりけり
云々由
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の

山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の
夕方ノ山氣正作夕の

天長節

時事

水 戊
臨 申

晴天
暖寒

豫記

神也

有次第大石並トリ

としり件より不石

日あり存入多し

多量山水居州より

治了

四月三十日

舊五月四日

所感

本日迄祭教養のころの物と云ん
 世に事あり不存如所の如く物と自身加も
 ありてはトウ一の弊も多し
 山岳も未中より此のころと云うより
 山の頂上をとりし先づらに海無かりし
 といふかりし、此のころと云うより
 鏡のりるよりか元来、死地より
 うる項と云うは、神地能も不完全
 之の何れもと云うは、
 今のころ、町百路あり行り
 大段、う成昔より引退けり日迄
 といふは、
 といふは、

五月



鳩追ふて鴉沈みし若葉かな
虚子

重要記事

位文問題 自動子

位文問題 位文問題

位文問題 位文問題

本と大増量ノ件

日出 四時五十分 日没 六時二十七分

時事

木 己

氣天 晴

暖寒

豫記

五月一日

萬六 四日

所感

昨日の夕方、風が吹いて、
肌が冷たい。
夕方、お寺へ参詣した。
お寺の境内は静かである。
お寺の僧侶は、静かに
お祈りをしている。

昨日の夕方、風が吹いて、
肌が冷たい。
夕方、お寺へ参詣した。
お寺の境内は静かである。
お寺の僧侶は、静かに
お祈りをしている。

南郷辰

時事

金 庚

氣天 晴

暖寒

豫記

五月二日

萬七 四日

所感

昨日の夕方、風が吹いて、
肌が冷たい。
夕方、お寺へ参詣した。
お寺の境内は静かである。
お寺の僧侶は、静かに
お祈りをしている。

昨日の夕方、風が吹いて、
肌が冷たい。
夕方、お寺へ参詣した。
お寺の境内は静かである。
お寺の僧侶は、静かに
お祈りをしている。

八十八夜

魂睡するまゝに

端午節句

所感	月 丑 癸	日 五 月 五	曆 四 十 舊 日	時 事
	氣天 晴			
	豫 記			
	<p>一可馬年... 石... 是... 唯... 分... 加... 多... 家...</p>			
	<p>六... 合... 祇... 後... 各... 其... 日... 日...</p>			

所感	月 丑 癸	日 五 月 五	曆 四 十 舊 日	時 事
	氣天 晴			
	豫 記			
	<p>六... 合... 祇... 後... 各... 其... 日... 日...</p>			

立夏 前七時十分 水止納入

所 感	月日 四三	日 八 月 五	曜木 辰丙		時 事
	萬十		天 氣 豫 記	暖 寒	

所 感	月日 四二	日 七 月 五	曜水 辰乙		時 事
	萬十		天 氣 豫 記	暖 寒	

三日月の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

計 日 九 月 五 日

所感	日	九	月	五	金	日	時
	日	四	十	日	巳	丁	事
所感	<p>予、此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...</p>				<p>氣天 曇り 暖寒 風南</p>		時
	<p>予、此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...</p>				<p>氣天 曇り 暖寒 風南</p>		

所感	日	十	月	五	上	日	時
	日	四	十	日	午	戊	事
所感	<p>予、此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...</p>				<p>氣天 曇り 暖寒 風南</p>		時
	<p>予、此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...</p>				<p>氣天 曇り 暖寒 風南</p>		

四時三十分

日出 四時三十分 日没 六時三十九分

所感	曆 金	時
	子 甲	事
	氣天	象
	豫	記

四時三十分

所感	曆 木	時
	文 癸	事
	氣天	象
	豫	記

所感	日七十月五	曜土 乙 丑	月四廿二	時事
	氣天 雨	豫 記	氣天 暖寒	
	<p>終日雨の如うに雨は降らなかりし。是の如く。先づか うコトリもあつた。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。</p>			

所感	日八十月五	曜日 丙 寅	月四廿二	時事
	氣天 雨	豫 記	氣天 暖寒	
	<p>この日は雨の如うに雨は降らなかりし。是の如く。先づか うコトリもあつた。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。 是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。是の如く。</p>			

下弦 前十時十七分

所感	月四舊 日四十二	日九十月五	曜月 9P 丁	時事
	<p>豫記</p> <p>暖寒</p>			<p>気天</p> <p>晴</p>
<p>此の如く</p> <p>夕方の雨は少し降るが、夜は晴れ、明日は雨、</p> <p>今日は一歩の雨、明日は雨、</p> <p>夕方の雨は少し降るが、夜は晴れ、明日は雨、</p> <p>今日は一歩の雨、明日は雨、</p> <p>夕方の雨は少し降るが、夜は晴れ、明日は雨、</p> <p>今日は一歩の雨、明日は雨、</p>				

所感	月四舊 日五十二	日十二月五	曜火 辰 戊	時事
	<p>豫記</p> <p>暖寒</p>			<p>気天</p> <p>晴</p>
<p>此の如く</p> <p>夕方の雨は少し降るが、夜は晴れ、明日は雨、</p> <p>今日は一歩の雨、明日は雨、</p> <p>夕方の雨は少し降るが、夜は晴れ、明日は雨、</p> <p>今日は一歩の雨、明日は雨、</p> <p>夕方の雨は少し降るが、夜は晴れ、明日は雨、</p> <p>今日は一歩の雨、明日は雨、</p>				

所感	舊曆四月十九日	五月二十四日	上壬 申	時事
	天氣 暑 雨 暖寒 豫 記 日本加茂、坊土印 被市増進、印 不			
本町、多岐、京七、冷、如、野、備、之、山、如、此、下、各、吹、揚、也、不 不、無、之、也、多、岐、山、全、息、草、果、其、地、多、岐、山、多、岐、山、ト 高、梅、之、力、以、生、朝、比、上、十、枝、分、下、イ、カ、書、大、梅、境 下、ア、ノ、ノ、終、了、果、梅、ノ、ア、ナ、シ、十、二、箇、ノ、身、分 余、在、一、切、吹、終、ル、之、切、に、梅、梅、也、何、意、分、ノ、イ 先、ノ、師、人、書、印、ノ、三、日、地、抄、ノ、版、印、に、是、日 本、不、ウ、カ、カ、リ、ラ、梅、ノ、コ、ノ、カ、ノ、ノ、亮、小、山、梅、ノ、文、ヲ 書、回、其 如、何、又、正、道、ト、ナ、ル、ノ、事、ノ、理、理、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事 官、十、二、日、人、事、ノ、事 梅、果、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事				

所感	舊曆四月十八日	五月二十三日	金辛 未	時事
	天氣 雨 暑 暖寒 豫 記 第、大、イ、ク、ノ、事 了、由			
本町、多岐、京七、冷、如、野、備、之、山、如、此、下、各、吹、揚、也、不 不、無、之、也、多、岐、山、全、息、草、果、其、地、多、岐、山、多、岐、山、ト 高、梅、之、力、以、生、朝、比、上、十、枝、分、下、イ、カ、書、大、梅、境 下、ア、ノ、ノ、終、了、果、梅、ノ、ア、ナ、シ、十、二、箇、ノ、身、分 余、在、一、切、吹、終、ル、之、切、に、梅、梅、也、何、意、分、ノ、イ 先、ノ、師、人、書、印、ノ、三、日、地、抄、ノ、版、印、に、是、日 本、不、ウ、カ、カ、リ、ラ、梅、ノ、コ、ノ、カ、ノ、ノ、亮、小、山、梅、ノ、文、ヲ 書、回、其 如、何、又、正、道、ト、ナ、ル、ノ、事、ノ、理、理、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事 官、十、二、日、人、事、ノ、事 梅、果、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事、ノ、事				

時 事	日 癸	日 五 月 二 日	舊 三 四 十 月 日	所 感
	酉 癸	豫 記		
<p>時事 牛込三町二十分中山路一丁死之</p> <p>終る花宅</p> <p>正元島院の地帯、其日、己日、又夕方、其 宮内、若木仙、此夕公孫、所へ入</p> <p>其地帯、若木子、名、其、其、人</p> <p>性、好、その、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p>				

時 事	月 甲	日 五 月 二 日	舊 三 四 十 月 日	所 感
	戌 甲	豫 記		
<p>時事 牛込三町二十分中山路一丁死之</p> <p>終る花宅</p> <p>正元島院の地帯、其日、己日、又夕方、其 宮内、若木仙、此夕公孫、所へ入</p> <p>其地帯、若木子、名、其、其、人</p> <p>性、好、その、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p> <p>其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其</p>				

新月 後二時十八分

時事

火乙 雁文

五月二十七日

五月五日

所感

氣天 暑り 暖寒

豫記

Handwritten notes in the top section of the right page.

Main handwritten text in the bottom section of the right page.

大改

時事

水丙 雁子

五月二十八日

五月五日

所感

氣天 晴

暖寒

豫記

Handwritten notes in the top section of the left page.

Main handwritten text in the bottom section of the left page.

時事

氣天 晴

暖寒

曜 土 巳
59

五月三十一日

五月 舊六 日

所感

ケハ 候 候
カコト 候
カコト 候
カコト 候
カコト 候
カコト 候
カコト 候
カコト 候

此日近來七月十日十分の内ニ並御申事あり一筆過り
 可々由申事あり候事、事何年木時より、電候公一
 治事より合併増し併、可々由と申事候事
 事候事如由り候事、治事外候向元候事
 一以名收辨事未、事何年より合併増し
 午下日候事、之を、兩地ノ電候候事候事
 一議事、由より午下日候事候事候事
 事候事、候事、法候事之改修也、可々由り
 改修候法候事候事候事、候事候事候事候事
 一可々由り候事候事候事候事候事候事
 候事候事候事候事候事候事候事候事

六月



早乙女のならば映りて睡わたり

素舂

重要記事

信定物題

此是精神ノ改善ノ事

Vertical lines of handwritten text, likely a journal or diary entry.

日出 四時三十七分 日没 六時五十一分

時事

日 庚辰

天 氣 暑 十 兩

寒 暖 記

六 月 一 日 五 日 庚辰

野花より一色花より一色
由緒ある花は世に
あはれやうやうやう
地花、一色花より一色
世にあり、よきよき
さう、トと久々の
習流、日合より一
は、こゝろを、トと
人の心

七日迄は、此の物語は、
修し、一、
事、
り、
野花より一色花より一色
地花、一色花より一色
世にあり、よきよき
さう、トと久々の
習流、日合より一
は、こゝろを、トと
人の心

時事

月 辛巳

六 月 二 日 五 日 辛巳

天 氣 晴

寒 暖 記

所 感

野花より一色花より一色
由緒ある花は世に
あはれやうやうやう
地花、一色花より一色
世にあり、よきよき
さう、トと久々の
習流、日合より一
は、こゝろを、トと
人の心

七日迄は、此の物語は、
修し、一、
事、
り、
野花より一色花より一色
地花、一色花より一色
世にあり、よきよき
さう、トと久々の
習流、日合より一
は、こゝろを、トと
人の心

上弦 前六時五十六分

所感 トナ	日	三	月	六	火曜	時事	
	日	五	九	壬午	天候	豫	
天候	予ハトウモ多ク 下ノイシト途チラ 香子ウツクヲ 口ウセツシムル 大田地此レハ五 再博ハ一 リ其大田地 一由旅支沖水 強一					記	
	立河ノ今更 上四支約此 定段今更 之度、事 予ノ見 給白今更 引 湖又 予ノ 余ノ 予ノ						記
天候	予ハトウモ多ク 下ノイシト途チラ 香子ウツクヲ 口ウセツシムル 大田地此レハ五 再博ハ一 リ其大田地 一由旅支沖水 強一						記

所感	日	四	月	六	木曜	時事	
	日	五	十	癸未	天候	豫	
天候	予ハトウモ多ク 下ノイシト途チラ 香子ウツクヲ 口ウセツシムル 大田地此レハ五 再博ハ一 リ其大田地 一由旅支沖水 強一					記	
	立河ノ今更 上四支約此 定段今更 之度、事 予ノ見 給白今更 引 湖又 予ノ 余ノ 予ノ						記
天候	予ハトウモ多ク 下ノイシト途チラ 香子ウツクヲ 口ウセツシムル 大田地此レハ五 再博ハ一 リ其大田地 一由旅支沖水 強一						記

柳文達久 事

所感	日	月	五	六	木申	時事
	舊十 月五日				天 氣 豫 記	

所感	日	月	六	六	金乙酉	時事
	舊十 月五日				天 氣 豫 記	

芒種 前十一時三十九分

辰智ノ...
...
...

時事

曜上
成丙

日 七 月 六

月 五 日
三 十

所感

氣天
晴
暖寒

豫記

石門のりてきたりて
言者竹の根の如く
こゝろの思ふに
いふに
所記
切細く
丁かえ

七の日の冷か
こゝろ先、心
のりてきたりて
いふに
石門のりてきたりて
言者竹の根の如く
こゝろの思ふに
いふに
所記
切細く
丁かえ

時事

日 六 月 八

月 五 日
四 十

所感

氣天
晴
暖寒

豫記

七の日の冷か
こゝろ先、心
のりてきたりて
いふに
石門のりてきたりて
言者竹の根の如く
こゝろの思ふに
いふに
所記
切細く
丁かえ

入梅 後五時十一分

所感	月日	五月七	舊曆	十月一	日	六	木庚	臘	寅	時事
	氣天	雨								暖寒
所感	月日	五月八	舊曆	十月二	日	六	木辛	臘	辛	時事
	氣天	雨								暖寒

今日の雨は、午後五時十一分に入梅した。雨は、朝から夕方まで降り、湿度が高くなった。明日は、晴れ間があるが、雨の予報が出ている。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。

今日雨の降る予報は、午後五時十一分に入梅した。雨は、朝から夕方まで降り、湿度が高くなった。明日は、晴れ間があるが、雨の予報が出ている。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。

所感	月日	五月八	舊曆	十月二	日	六	木辛	臘	辛	時事
	氣天	雨								暖寒
所感	月日	五月七	舊曆	十月一	日	六	木庚	臘	寅	時事
	氣天	雨								暖寒

今日雨の降る予報は、午後五時十一分に入梅した。雨は、朝から夕方まで降り、湿度が高くなった。明日は、晴れ間があるが、雨の予報が出ている。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。

今日雨の降る予報は、午後五時十一分に入梅した。雨は、朝から夕方まで降り、湿度が高くなった。明日は、晴れ間があるが、雨の予報が出ている。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。今日の雨は、久しぶりの雨で、気持ちいい。明日は、仕事があるから、雨が続いたら、大変だ。

所 感	舊二 月十	日 四 十 月 六			曜 土 日 癸	時 事
					氣天 豫 暖寒 記	
<p>此中七字の事 走射と云ふ事今用申す所然る内中今も此の事 今可也... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時...</p>						

所 感	舊十 月九	日 三 十 月 六			曜 金 辰 壬	時 事
					氣天 雨 暖寒 記	
<p>此中七字の事 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時... 事ありし時...</p>						

時事

木戌

六月十九日

舊五月五日

所感

雨

録記

此の如く由とつて
リナリトハ何れも
道に力と云ふ是も
知ラセハ夜ナリム
相言信不事云ふ
清北ノハハナリム

此の如く由とつて
ナリトハ何れも
道に力と云ふ是も
知ラセハ夜ナリム
相言信不事云ふ
清北ノハハナリム
此の如く由とつて
ナリトハ何れも
道に力と云ふ是も
知ラセハ夜ナリム
相言信不事云ふ
清北ノハハナリム

時事

金己

六月二十二日

舊五月十六日

所感

天雨
録記

午の文書者要ノ印
筆信初々々
夕方の雨ナリム
ナリトハ何れも
道に力と云ふ是も
知ラセハ夜ナリム
相言信不事云ふ
清北ノハハナリム

此の如く由とつて
ナリトハ何れも
道に力と云ふ是も
知ラセハ夜ナリム
相言信不事云ふ
清北ノハハナリム
此の如く由とつて
ナリトハ何れも
道に力と云ふ是も
知ラセハ夜ナリム
相言信不事云ふ
清北ノハハナリム

時事

曜土
子庚

日一十二月六

月五舊二
日七十二

所感

氣天
曇り
暖寒

豫記

リ不身所、是状
大なり、柱河リ
入

定例の情をたゞとて
四百紙に、一は、
顔の心、
今、
所、
又、
正、
年、
一、
心、

時事

曜日
丑辛

日二十二月六

月五舊二
日八十二

所感

豫記

豫記

此、
又、
正、
年、
一、
心、

夏至 前四時三十四分 日出 四時二十五分 日没 七時

Handwritten notes at the top of the right page.

Main handwritten text in the right page, organized into two columns. Includes various observations and reflections.

Vertical handwritten notes on the far right edge of the right page.

Main handwritten text in the left page, organized into two columns. Includes various observations and reflections.

太后陛下御體長新月御時...

Handwritten notes at the top of page 184.

所感	月日	六 期	日五十二月六	木 辰	時事
	天候	晴	暖寒	豫記	
所感	月日	六 期	日五十二月六	木 辰	時事
	天候	雨	暖寒	豫記	

Vertical handwritten notes on the left side of page 184.

所感	月日	六 二	日六十二月六	木 乙	時事
	天候	雨	暖寒	豫記	
所感	月日	六 二	日六十二月六	木 乙	時事
	天候	雨	暖寒	豫記	

Vertical handwritten notes on the left side of page 185.

交約記

所感	日七十二月六	臘金 午丙	時事
	月日 六三	氣天 雨	豫 記
<p>此ノ一夜急暑シ アノ七五トモ増進 下流ノ堅實ナ所 ノ此ノ事余托 申来候ノ此ノ事 ノ此ノ事一日野人 候合ノ文甲市 百ノ者如獲物セ ニハ高シ 終日雨降ル</p>			
<p>此ノ事余托 申来候ノ此ノ事 ノ此ノ事一日野人 候合ノ文甲市 百ノ者如獲物セ ニハ高シ 終日雨降ル</p>			

所感	日八十二月六	臘土 未丁	時事
	月日 六四	氣天 雨	豫 記
<p>此ノ事余托 申来候ノ此ノ事 ノ此ノ事一日野人 候合ノ文甲市 百ノ者如獲物セ ニハ高シ 終日雨降ル</p>			
<p>此ノ事余托 申来候ノ此ノ事 ノ此ノ事一日野人 候合ノ文甲市 百ノ者如獲物セ ニハ高シ 終日雨降ル</p>			

貴所より一ツ修ん

所感	月六 舊六	日十月六	曜 己	時 事
				氣天 豫 記 暖寒
<p>今日の事、此の事、 修ん 物ノ是者、 先々、 初葉卜討案、</p>				

所感	月六 舊五	日九月六	曜 申 戊	時 事
				氣天 豫 記 暖寒
<p>今日の事、此の事、 修ん 物ノ是者、 先々、 初葉卜討案、</p>				

七月



雲の峰土手行く人を呑まんとす
紅緑

重・要 記事

紅毛猪神、改書
本之増頁
位之何題

Handwritten vertical text in the lower section of the right page, including the characters '紅毛猪神' (Red Hair Pig God).

時事

火曜 戊辰

七月一日

舊七 六月 日

所感

天候

晴

豫

記

Vertical lines for weather and forecast notes, mostly blank.

Main handwritten text on the left page, starting with '定刻前...' and '全同向...'.

日出 四時二十八分 日没 七時一分

己未年十月七日

所感	月日 六六 舊十	日 十 月 七	臘 木 申 庚	時 事
	<p>天氣 晴 豫記</p> <p>出利寺北此寺のより居る中ノ有即 為経師の御相法先師の也、然不 下、必あり候く事なり、由 未みふ人、可く通し、 正午、所々、口以、 甚居、 大敷、 又、 六、</p>			

所感	月日 六七 舊十	日 一 十 月 七	臘 金 申 庚	時 事
	<p>天氣 雨 豫記</p> <p>外、在此、 三、 合、 事、 小、</p>			

時事 右の石ノ海邊迄夜不返トナレ

雨天 大雨 暖寒

豫記

此の道も法乃々々
 冬も不夜田迄
 此、日迄も先
 此の道も先
 九時迄の日知あり
 けん けん けん
 此の道も先
 此は辛未式船堂
 けん けん けん

此の日も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先

時事

雨天 大雪 暖寒

豫記

日七十月三日 壬戌

所感

此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先

此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先
 此の道も先

時事

日 己

七 月 二 十 日

舊 曆 六 月 六 日

所感

雨

豫記

Blank area for weather notes.

結雨又ぬかき事外にり 表一層少く
ケカレ
今も徳治一人に名も十時徳治松原迄
道一こぼりつりおらうに地走ノ半端こいつかう
是ゆやこまかい今もいつかう 世名、地走入
日分は徳治ノ甲上徳治こまおらんこいつかう
此ノ行一ノ徳治ノ行より多分半迄かえん
明日ノ行一ノ徳治ノ行より多分半迄かえん
今も徳治君ノ行より多分半迄かえん

時事

月 庚

七 月 二 十 一 日

舊 曆 六 月 七 日

所感

雨

豫記

天気
今も徳治一人に名も十時徳治松原迄
道一こぼりつりおらうに地走ノ半端こいつかう
是ゆやこまかい今もいつかう 世名、地走入
日分は徳治ノ甲上徳治こまおらんこいつかう
此ノ行一ノ徳治ノ行より多分半迄かえん
明日ノ行一ノ徳治ノ行より多分半迄かえん
今も徳治君ノ行より多分半迄かえん

今も徳治一人に名も十時徳治松原迄
道一こぼりつりおらうに地走ノ半端こいつかう
是ゆやこまかい今もいつかう 世名、地走入
日分は徳治ノ甲上徳治こまおらんこいつかう
此ノ行一ノ徳治ノ行より多分半迄かえん
明日ノ行一ノ徳治ノ行より多分半迄かえん
今も徳治君ノ行より多分半迄かえん

此の日の雨は... (Vertical text on the left margin)

時事

火曜 辛未

七月二十二日

舊曆六月十八日

所感

雨天

豫記

平塚御石、日暮
夕暮とて、
五時御之、
夕暮とて、

上の出来ニ、
定則上此令、
最上、
新川、
改号、
同、
ア、
君、
ハ、
是、

上の出来ニ、
定則上此令、
最上、
新川、
改号、
同、
ア、
君、
ハ、
是、

時事

水曜 壬申

七月二十三日

舊曆六月十九日

所感

雨天

豫記

平塚御石、
夕暮とて、
五時御之、
夕暮とて、

上の出来ニ、
定則上此令、
最上、
新川、
改号、
同、
ア、
君、
ハ、
是、

大暑 後三時三十分 是れを覚て、
夕暮とて、
五時御之、
夕暮とて、

新月 後四時三十九分

時事

木 癸 酉

日 四 十 二 月 七

舊 朔 閏 六 月 日

所 感

氣天 晴 暖寒 豫記

今日は... 晴... 暖寒... 豫記... 日記の本文...

時 事

金 甲 辰

日 五 十 二 月 七

閏 二 月 日

所 感

氣天 晴 暖寒 豫記

日記の本文 (上部)

日記の本文 (下部)

縦書きの余白メモ

時事

曜土
亥乙

氣天
曇
暖寒

予のここのつらさう
アト胸のここのつらさう
せいこのつらさう
あつこのつらさう
このつらさう
かこのつらさう
半このつらさう
地底このつらさう
このつらさう

このつらさう
予のここのつらさう
アト胸のここのつらさう
せいこのつらさう
あつこのつらさう
このつらさう
かこのつらさう
半このつらさう
地底このつらさう
このつらさう

所感

月六閏三

日六十二月七

時事

曜子丙

氣天
晴
暖寒

ながこのつらさう
あつこのつらさう
このつらさう
かこのつらさう
半このつらさう
地底このつらさう
このつらさう

このつらさう
予のここのつらさう
アト胸のここのつらさう
せいこのつらさう
あつこのつらさう
このつらさう
かこのつらさう
半このつらさう
地底このつらさう
このつらさう

所感

月六閏四

日七十二月七

長雨七晴九
長雨七晴九
長雨七晴九

時事

月 丁
曜 丑

日 八 十 二 月 七

月 六 閏 舊 五
日

所 感

氣天

時

豫

寒

記

此降り雪の降るべし
定例より紅十字の正に
向不花折尻の109
心者二節の見る雪
レツリおまふと
カレレハ
カ
同
是
カ

時 事

火 戌
曜 戌

日 九 十 二 月 七

月 六 閏 舊 六
日

所 感

氣天

時

寒

記

那麻比んかうま
夕よりあゆみ
んりり
中
多
妻
力
9

修
厚
行
イ
は
ん
中
六
三
者
妻

日出 四時四十八分 日没 六時四十六分 遊バゲ逆人

所感	月六閏舊九	日一月八	金 辛 鹽 巳	時事
	<p>ツルツルヤ、イニヒ、吾の、アハル、カ、梅、臺、上、引、垂、り、せ、り、ノ、リ、ン、シ、ル、</p>	<p>ツルツルヤ、イニヒ、吾の、アハル、カ、梅、臺、上、引、垂、り、せ、り、ノ、リ、ン、シ、ル、</p>	<p>ツルツルヤ、イニヒ、吾の、アハル、カ、梅、臺、上、引、垂、り、せ、り、ノ、リ、ン、シ、ル、</p>	<p>ツルツルヤ、イニヒ、吾の、アハル、カ、梅、臺、上、引、垂、り、せ、り、ノ、リ、ン、シ、ル、</p>

八月



夏の月齢の底まで照しけり
小波

重要記事

此を折沖ノ改善
本二増筆
信定門遊

Handwritten notes in the right margin of the right page, including the characters '時事'.

所感	月六閏舊 日三十		日	五	月	八	曜火		時事
	申甲						酉乙		
豫記	<p>氣天 晴</p> <p>暖寒</p>						<p>氣天 晴</p> <p>暖寒</p>		<p>時事</p>
	<p>Handwritten text in the top section of the right page.</p>						<p>Handwritten text in the top section of the right page.</p>		
<p>Handwritten text in the middle section of the right page.</p>						<p>Handwritten text in the middle section of the right page.</p>		<p>Handwritten text in the middle section of the right page.</p>	
<p>Handwritten text in the bottom section of the right page.</p>						<p>Handwritten text in the bottom section of the right page.</p>		<p>Handwritten text in the bottom section of the right page.</p>	

所感	月六閏舊 日三十		日	五	月	八	曜火		時事
	申甲						酉乙		
豫記	<p>氣天 晴</p> <p>暖寒</p>						<p>氣天 晴</p> <p>暖寒</p>		<p>時事</p>
	<p>Handwritten text in the top section of the left page.</p>						<p>Handwritten text in the top section of the left page.</p>		
<p>Handwritten text in the middle section of the left page.</p>						<p>Handwritten text in the middle section of the left page.</p>		<p>Handwritten text in the middle section of the left page.</p>	
<p>Handwritten text in the bottom section of the left page.</p>						<p>Handwritten text in the bottom section of the left page.</p>		<p>Handwritten text in the bottom section of the left page.</p>	

時事

火曜 壬辰

八月二十日

舊暦六月十日

所感

天候 曇雨 暖寒

鎌記

右が一之と云ふ
 左の二之と云ふ
 此の三之と云ふ
 此の四之と云ふ
 此の五之と云ふ
 此の六之と云ふ
 此の七之と云ふ
 此の八之と云ふ
 此の九之と云ふ
 此の十之と云ふ

此の二之は、此の三之の
 此の三之は、此の四之の
 此の四之は、此の五之の
 此の五之は、此の六之の
 此の六之は、此の七之の
 此の七之は、此の八之の
 此の八之は、此の九之の
 此の九之は、此の十之の

時事

水曜 癸巳

八月十三日

舊暦六月十一日

所感

天候 晴雨 暖寒

鎌記

此の二之は、此の三之の
 此の三之は、此の四之の
 此の四之は、此の五之の
 此の五之は、此の六之の
 此の六之は、此の七之の
 此の七之は、此の八之の
 此の八之は、此の九之の
 此の九之は、此の十之の

此の二之は、此の三之の
 此の三之は、此の四之の
 此の四之は、此の五之の
 此の五之は、此の六之の
 此の六之は、此の七之の
 此の七之は、此の八之の
 此の八之は、此の九之の
 此の九之は、此の十之の

日出五時 日没六時三十分

時事

曜土 申丙

日六十月八

月六閏舊 日四十二

所感

氣天 晴

豫

暖寒

記

Handwritten notes in the top section of the right page.

Main handwritten text on the right page, starting with '昨日...'

時事

曜日 酉丁

日七十月八

月六閏舊 日五十二

所感

氣天

晴

暖寒

豫

記

Handwritten notes in the top section of the left page.

Main handwritten text on the left page, starting with '昨日...'

時事

月 戊
曜 戌

日 八 十 月 八

月 六 閏 舊
日 六 十 二

所 感

氣天

晴

暖寒

豫 記

月神とう輝

光久

八和堂、啓書

その名某行方

一可敏性ノ後

英明ノ事

上月起休野子ニニ一ニ仰懐故其居七の時之下也此

既れ故比去年ノ學神ノ故考ノ理ノ死ニ増えん

覺后ケ殆ス、九時ノ時ニ至リて是ノ位終也

不リニ至ラズニ始ニテ一可敏性ニ至ル、處

皆同信ニテ年々ノ入念セテ之ヲ延テ延テ也

右邊信知世學ニ至リ、此邊ニ至ル、甚多ク也

右邊、時支事初果ノ事ニシテ誰ニテ了テヤト

是故年ニ信候ニ格ノ也、之の時年ノ時ニ

中ニテ、事年ノ信候ニ格ノ也、之の時年ノ時ニ

時事

火 曜
文 色

日 九 十 月 八

月 六 閏 舊
日 七 十 二

所 感

氣天

晴

暖寒

豫 記

吾昔昔人らに

月ノ神トシテ

光久ノ事

八和堂ノ啓書

その名某行方

一可敏性ノ後

英明ノ事

上月起休野子ニニ一ニ仰懐故其居七の時之下也此

既れ故比去年ノ學神ノ故考ノ理ノ死ニ増えん

覺后ケ殆ス、九時ノ時ニ至リて是ノ位終也

不リニ至ラズニ始ニテ一可敏性ニ至ル、處

皆同信ニテ年々ノ入念セテ之ヲ延テ延テ也

右邊信知世學ニ至リ、此邊ニ至ル、甚多ク也

右邊、時支事初果ノ事ニシテ誰ニテ了テヤト

是故年ニ信候ニ格ノ也、之の時年ノ時ニ

中ニテ、事年ノ信候ニ格ノ也、之の時年ノ時ニ

晴 也 云 々

時事

火曜 丙午

八月二十六日

舊曆 七月七日

所感

天氣

晴

豫

寒暖

記

Handwritten notes in the top section of page 248.

Main handwritten text on page 248, starting with '今日も暑く...'.

時事

木曜 丁未

八月二十七日

舊曆 七月七日

所感

天氣

曇

豫

寒暖

記

Handwritten notes in the top section of page 249.

Main handwritten text on page 249, starting with '昨日の比...'.

時事

木戌 曜申

八月二十日

舊六 月七日

所感

晴天 暖寒

先んずり徳外会
のりやう、尾宗
のりやうとパイワロ
のりやうの昔年ノ社
メシ、事りきこぬテ
物りやうくすたろ
かろかえり
古所宅十一日
分所へのん

此の徳外会は、徳外会
のりやう、尾宗のりやう
のりやうとパイワロのりやう
のりやうの昔年ノ社のりやう
メシ、事りきこぬテのりやう
物りやうくすたろのりやう
かろかえりのりやう
古所宅十一日のりやう
分所へのんのりやう

時事

金己 曜酉

八月二十九日

舊七 月七日

所感

晴天 暖寒

豫記

此の徳外会は、徳外会
のりやう、尾宗のりやう
のりやうとパイワロのりやう
のりやうの昔年ノ社のりやう
メシ、事りきこぬテのりやう
物りやうくすたろのりやう
かろかえりのりやう
古所宅十一日のりやう
分所へのんのりやう

上弦 十一時四分

日 23-3

所感	舊十 月四日	日 五 月 九	金 辰 丙	時事
	天 氣 豫 記		天 氣 暖 寒	
亡き先の 帰る気つかふ 夢の中				

所感	舊十三 月七日	日 四 月 九	木 辰 乙	時事
	天 氣 豫 記		天 氣 暖 寒	

時事		曜		日		月		九		六月		九		日		曜		時	
		十		巳		七		五		七		五		月		日		時	
		氣天		晴															
		豫		記															
<p>晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此</p>																			

時事		曜		日		月		九		七月		九		日		曜		時	
		十		巳		七		五		七		五		月		日		時	
		氣天		晴															
		豫		記															
<p>晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此 晴晴之町平延休之入所標之到之此</p>																			

時事

水 辛酉

雨
氣天 暖寒

九 月 十 日
昨日迄雨止、今日
又、雨、降、り、引、取
り、方、辛、辰、の、午、未、の
七、八、九、の、辰、巳、未、の
卯、辰、巳、未、の、日、は、こ
れ、に、お、き、り、か、つ、ま、り、再
も、う、と、ま、り、し、り、

吾等止、此、れ、多、分、殊、然、中、之、一、ス、リ、ク、也、
唯、一、日、得、ル、一、リ、也、の、自、神、と、云、ふ、は、
未、知、何、ナ、ク、
悔、心、思、得、ル、其、甚、密、有、一、面、今、日、下、夜、雨、了、之、後、
此、れ、に、現、在、一、物、之、故、今、何、向、想、迄、也、一、此、れ、
桶、水、一、桶、望、テ、進、ベ、ク、法、師、ヲ、シ、ラ、シ、カ、ル、
十、分、得、ル、為、ニ、
此、れ、若、執、之、不、却、一、息、故、
石、上、
吾、等、
悔、心、思、得、ル、其、甚、密、有、一、面、今、日、下、夜、雨、了、之、後、
此、れ、に、現、在、一、物、之、故、今、何、向、想、迄、也、一、此、れ、
桶、水、一、桶、望、テ、進、ベ、ク、法、師、ヲ、シ、ラ、シ、カ、ル、
十、分、得、ル、為、ニ、
此、れ、若、執、之、不、却、一、息、故、
石、上、
吾、等、

時事

木 壬戌

小雨
氣天 暖寒

九 月 十 一 日
昨日迄雨止、今日
又、雨、降、り、引、取
り、方、辛、辰、の、午、未、の
七、八、九、の、辰、巳、未、の
卯、辰、巳、未、の、日、は、こ
れ、に、お、き、り、か、つ、ま、り、再
も、う、と、ま、り、し、り、

吾等止、此、れ、多、分、殊、然、中、之、一、ス、リ、ク、也、
唯、一、日、得、ル、一、リ、也、の、自、神、と、云、ふ、は、
未、知、何、ナ、ク、
悔、心、思、得、ル、其、甚、密、有、一、面、今、日、下、夜、雨、了、之、後、
此、れ、に、現、在、一、物、之、故、今、何、向、想、迄、也、一、此、れ、
桶、水、一、桶、望、テ、進、ベ、ク、法、師、ヲ、シ、ラ、シ、カ、ル、
十、分、得、ル、為、ニ、
此、れ、若、執、之、不、却、一、息、故、
石、上、
吾、等、

所感

舊二 月日 七十

二百二十日

時事

日 乙丑

九月十四日

舊曆 七月十三日

所感

天氣

星十四

暖寒

豫

記

六日迄來治令治系ノ修シテモ、又在下ノ文
 書收ノ十倉ノヤ申ラズ核型ノヤラズん由
 比入レテ申シ其ノリノ、ニ核型ノ治シテ
 正午ニ冷ノ寒由ニ治シ地ノ此ニ強クテ
 降ル、自分留者ニテ申シ一ノ降ル
 合衆出積ノ、大氣ノ寒クニシテ其ノ
 比テ、ニ申シヤラズ

夜大夜ノ可心吐リ、比テ、ノ命ノ如
 比テ、ニ申シヤラズ

時事

月 丙寅

九月十五日

舊曆 七月十四日

所感

天氣

星十五

暖寒

豫

記

前日迄來治令治系ノ修シテモ、又在下ノ文
 書收ノ十倉ノヤ申ラズ核型ノヤラズん由
 比入レテ申シ其ノリノ、ニ核型ノ治シテ
 正午ニ冷ノ寒由ニ治シ地ノ此ニ強クテ
 降ル、自分留者ニテ申シ一ノ降ル
 合衆出積ノ、大氣ノ寒クニシテ其ノ
 比テ、ニ申シヤラズ

日出 五時二十三分 日没 五時四十八分

時事

火 曜 丁 9P

九月十六日 舊曆七月二十五日

所感

氣天 曇夜雨 暖寒 記

止雨早退休考多作標井口年云智二可新近休取在り其
こ云物・蒙内の留るの師しをか云・羽布十々も精
白せんとぬこりゆり
依何朝一と云云と折るが合う其の心は遠征の師
手取ら・作書師也其合う小人事工更、其心こ
可相取入
此の用件、其能く其書の古時を合取りてんりこ云ん
ゆりふりゆりゆり通和りもさりりん
此の地へ云り一と云り其有運せとんりりん
箱白年へ一と云り之の強御外考りてんり一様りゆりり
運りて考不働之名一と云

時事

水 曜 戌 辰

九月十七日 舊曆七月二十六日

所感

氣天 雨 暖寒 記

雨
予の心は依何朝一と云云と折るが合う其の心は遠征の師
手取ら・作書師也其合う小人事工更、其心こ
可相取入
此の用件、其能く其書の古時を合取りてんりこ云ん
ゆりふりゆりゆり通和りもさりりん
此の地へ云り一と云り其有運せとんりりん
箱白年へ一と云り之の強御外考りてんり一様りゆりり
運りて考不働之名一と云

二十六夜待(月出翌日 前二時十三分)

時事

本 巳

九月十八日

舊七月十七日

所感

雨天 雨

豫

記

暖寒

雨の降るに
 百を、御人、古、都、分、と、え、り、水、を、者、三、の、所、入、水、を
 小、う、水、が、あ、雨、か、下、す、さ、不、下、口、始、り、々、り、不、降、る
 申、込、到、じ、ら、う、え、こ、こ、又、こ、お、せ、り、い、り、今、う、雨、降、り
 カ、ケ、ナ、イ、リ、ト
 乙、年、の、市、田、の、為、存、つ、つ、一、年、暮、見、う、る、う
 幸、多、く、外、取、入、記、一、番、茶、下、掛、差、一、も、り、一、也、倍
 一、番、茶、下、掛、一、也、り
 日、節、ま、甚、つ、つ、今、外、見、茶、ノ、降、り、り、の、雨、田、こ、こ
 ぬ、う、さ、さ、り、り、え

時事

金 庚

九月十九日

舊七月十八日

所感

雨天 雨

豫

記

暖寒

雨の降るに
 一、下、り、つ、つ、ス、お、こ、れ、一、也、倍、一、も、り、一、也、倍
 一、也、倍、一、も、り、一、也、倍
 正、年、の、市、田、の、為、存、つ、つ、一、年、暮、見、う、る、う
 一、也、倍、一、も、り、一、也、倍
 申、込、到、じ、ら、う、え、こ、こ、又、こ、お、せ、り、い、り、今、う、雨、降、り
 カ、ケ、ナ、イ、リ、ト
 乙、年、の、市、田、の、為、存、つ、つ、一、年、暮、見、う、る、う
 幸、多、く、外、取、入、記、一、番、茶、下、掛、差、一、も、り、一、也、倍
 一、番、茶、下、掛、一、也、り
 日、節、ま、甚、つ、つ、今、外、見、茶、ノ、降、り、り、の、雨、田、こ、こ
 ぬ、う、さ、さ、り、り、え

時事

土 辛
曜 未

九月二十一日

舊曆
七月十九日

所感

氣天 晴
暖寒

遠く及心あふか町
馬場御へ有
後立り

久し振るゝ其史快ナリ
此れ故郷之沖地前ニテ
心ニ
此今更合ニ再修ス
畫何故ハ此令ノ基礎
ナラズ本留何也
言ニテ我意ヲ納メ
フイリテ知意
此何ヨリ其外
竹本代城
一ツ台

時事

日 壬
曜 申

九月二十一日

舊曆
八月八日

所感

天晴 豫記

千長ニドク
コソイフ
此取任
ナカク
後立
此取任

此何ヨリ其外
竹本代城
一ツ台
此今更合
畫何故
ナラズ本留
言ニテ我意
フイリテ知意
此何ヨリ其外
竹本代城
一ツ台
此今更合
畫何故
ナラズ本留
言ニテ我意
フイリテ知意
此何ヨリ其外
竹本代城
一ツ台

日食(初齋 後茶時四十二分) ●新月 後一時三十八分
傳り相、アケビ 純肥



九月廿三日
三保
二
一

時事

火 辛
臘 巳

九月三十日

舊十
八日

所感

天氣

雨

暖寒

記

雨降る五日ほど休之節也

修の御書計画業より初更研究入少く出現

的如何とも方針より進めおこなう。ドウと

て文に断り初こん外下らんマ

夜にとうた一社するう。スガ同くたう七時五分

の

重要記事

名想長導 純平博士 行色

光公景守



十月

コスモスマヤ嶺嵐として日曜

日 みた

時事 南九州 颯風ニ入ツリハ 則チ修徳ヲ 海中ニ墮落ス者多ク 故

氣天 兩 暖寒 記 此ノ事 颯風ニ入リ 則チ修徳ヲ 海中ニ墮落ス者多ク 故

十月一日 颯風ニ入リ 則チ修徳ヲ 海中ニ墮落ス者多ク 故

所感 颯風ニ入リ 則チ修徳ヲ 海中ニ墮落ス者多ク 故

時事

木未 癸未 氣天 晴 暖寒 豫記

十月二日 颯風ニ入リ 則チ修徳ヲ 海中ニ墮落ス者多ク 故

所感 颯風ニ入リ 則チ修徳ヲ 海中ニ墮落ス者多ク 故

颯風ニ入リ 則チ修徳ヲ 海中ニ墮落ス者多ク 故

時事

金申

十月三日

萬曆八年三月

所感

天氣

晴

暖寒

豫

記

Handwritten notes in the top section of the right page.

Handwritten notes in the bottom section of the right page, including the title '長守の表'.

時事

土酉

十月四日

萬曆八年四月

所感

天氣

晴

暖寒

豫

記

Blank space in the top section of the left page.

Handwritten notes in the bottom section of the left page.

己卯年 月 日

中秋名月(月中天 後十一時四十三分) 〇 滿月 後五時三十二分

所感	曜日		時事
	戌	丙	
<p>アノカ、後ハクノ...</p>	豫	晴	<p>今ハ、亡シ...</p>
	記	暖寒	<p>九月十日...</p>

所感	曜日		時事
	未	丁	
<p>イヌ...</p>	豫	晴	<p>九月十日...</p>
	記	暖寒	<p>九月十日...</p>

古より伝へられたる電燈、夕夕、枕、位置、運り、運入、下へ下へ

寒露前一時三十九分

所感	舊曆十月九日	木曜	時事
	陰	天	晴
所感	豫記		暖寒
	<p>立州の北條が在此の夜合隊を強て、是を以て 又所外隊、他、外隊解、此を以て、 明日の夜合隊、合隊、 立州隊、隊、大いカワ、 二、九、 十、十、</p>		

所感	舊曆十月十日	金曜	時事
	陰	天	晴
所感	豫記		暖寒
	<p>立州の北條が在此の夜合隊を強て、是を以て 又所外隊、他、外隊解、此を以て、 明日の夜合隊、合隊、 立州隊、隊、大いカワ、 二、九、 十、十、</p>		

時事

曜月 甲午

日三十月十

舊日三十三

氣天 曇り

暖寒

豫記

晴る多し曇り少
く毛を短縮す
る事あり

有り近き大敵、其ノ申付ニシテ命ノ不心得此正午迄
現在ノ伏撃隊現出進出方付ク送り作事ニ始メ
陰謀与合謀ス
其申付書面送る事ノ進向ニ余心付テ候事他
多敷
此書面據取候事以テ此中御苦付候事ハ命ノ大
ク内下控書ノ状況ヲ御要領ヤ告知
降参ヲ在
事少シク候事ハ降参ノ今此備候事、あハ事ヲ
納メテ多クテ此學生ニテ人ノ事ニ事奉候事
候事此中事ヲ事奉候事ニテ此中事ヲ事奉候事

時事

曜火 乙未

日四十月十

舊日四十二

氣天 曇り

暖寒

豫記

此日ノ分定候事刻出社
正午情状察付行テ、フカケ事合ノ事ナリ
此ノ列強ニテ人
信見及事皆此ノ事
凡ク此聖由御控書事ハ
才々此事候保候事、其ノ事ハ此事ニ御要領、其ノ事
ナリ

時事

日 庚子

十月十九日

舊曆八月十九日

所感

天氣

晴

暖寒

豫記

脚にけこかろ又収
其かアん

此の事近來三日目極うがれりて是の内内と云ふ
三〇見又るリ極カナシ
支那に此は此一己の事ト云ふかマシク限之ん
リケル一層ノ常カク其強ク
此ノ事極其外此三十日極う下極うノ極其
表たかカナツカヒカ
十日に十極其外、今日に是是日迄不道なり
其ノ事、此其外、今日に是是日迄不道なり
イブレモノカ作れ
今ノ事極其外此三十日極う下極うノ極其
昨日の事此其外此三十日極う下極うノ極其

時事

月 辛丑

十月二十日

舊曆九月九日

所感

天氣

晴

暖寒

豫記

予りりこころ
年増之衣衣
新く作
イダシ先ト
ル

此の事近來三日目極うがれりて是の内内と云ふ
三〇見又るリ極カナシ
支那に此は此一己の事ト云ふかマシク限之ん
リケル一層ノ常カク其強ク
此ノ事極其外此三十日極う下極うノ極其
表たかカナツカヒカ
十日に十極其外、今日に是是日迄不道なり
其ノ事、此其外、今日に是是日迄不道なり
イブレモノカ作れ
今ノ事極其外此三十日極う下極うノ極其
昨日の事此其外此三十日極う下極うノ極其

●新月 後十一時二十分

Blank space for weather and time notes.

多分此後御旅の如く... 川を渡りて... 昔の如く... 今更なる... 昔の如く... 今更なる...

巴山印ト七活ト... 又今更なる... 十台ト十月... 又今更なる...

配中... 又今更なる... 又今更なる... 又今更なる... 又今更なる... 又今更なる...

時事

氣天

晴

暖寒

豫

記

臘木
辰甲

日三十二月十

月九舊四

所感

Handwritten notes in the upper section of page 308, including weather and diary entries.

今日この朝は、夜に比べ、晴れと云ふべきであらう。... (Main handwritten diary entry on page 308)

時事

氣天

晴

暖寒

豫

記

臘金
乙乙

日四十二月十

月九舊五

所感

Handwritten notes in the upper section of page 309, including weather and diary entries.

今日この朝は、夜に比べ、晴れと云ふべきであらう。... (Main handwritten diary entry on page 309)

気天

晴
豫記

乃今七八時許迄
不其の夜に於て
り多石丸、是れ
り多此を人、其後
り多ト此今一幸
今、福を多し

此年不食、年納凡
十日に於て、安否、
今、海軍、
長、古國、
石丸、
物種、
石丸、
石丸、
石丸、
石丸、

気天

晴
豫記

此の如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、

此の如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、
この如く、

△

時事	臘 金 己 未 己	日 七 月 一 十	舊 十 九 九	所 感
	氣天 晴			
	豫 記			
				<p>新穀の熟し 竹葉の可憐なる 山に上りて見れば 松葉の青さ 智見の事 北地は、上出り事此所物也</p>

時事	臘 土 庚 申 庚	日 八 月 一 十	舊 二 九 十	所 感
	氣天 晴			
	豫 記			
				<p>立冬 前四時二十五分 北地は、上出り事此所物也 竹葉の可憐なる 山に上りて見れば 松葉の青さ 智見の事 北地は、上出り事此所物也</p>

立冬 前四時二十五分
 北地は、上出り事此所物也
 竹葉の可憐なる
 山に上りて見れば
 松葉の青さ
 智見の事
 北地は、上出り事此所物也

四七〇三十二時・性

西の市

所感	月九舊 日一十二	日九月一十	曜日 酉辛	時事
	天気 晴 寒 方比色白く外は 赤く心は己う等ん 何事も無死切滞 一吉頃の時久 以て終へる 有			之の事一延旅人の物出つてト一併し 了り布施の足敷平定ヲ初まり命一 一可憐なる名は其の以て是故一保事 張漢より 事一了りし、十一十の事業平定 表作也古御の魂ト還りてんを 一り作ん

所感	月九舊 日二十二	日十月一十	曜日 戌壬	時事
	天気 晴 寒 方比色白く外は 赤く心は己う等ん 何事も無死切滞 一吉頃の時久 以て終へる 有			之の事一延旅人の物出つてト一併し 了り布施の足敷平定ヲ初まり命一 一可憐なる名は其の以て是故一保事 張漢より 事一了りし、十一十の事業平定 表作也古御の魂ト還りてんを 一り作ん

時事

木乙
辰丑

日三十月一十

月九舊
日五十二

所感

天
氣
量
及
雨
暖寒

豫記

夜布抱之木脚矣、
たんこんこん、カウ
こ、波布えん、
ま長よこえこ色ウ
ウウ

此の事十分迄は体様定まり
取合へるノセウメケ一取合へる
永改へるべしト仰ふリ也
甚々喜ぶ事外に定まり
イリク一十年式出アウ
ス古出ノマ、三十四日
せん一七午ト始ス
考えんク一カ
午後二時ヨリ老
行ノ七の時迄
限ハ心様一
後以テ行ク

時事

金丙
辰寅

日四十月一十

月九舊
日六十二

所感

天
氣
雨
及
晴

暖寒

豫記

今一の事
昨日之
神様
イテ
ト
電
月
同

時事

水 辛 未

雨

暖寒

豫 記

十一月十九日 舊期 月十日

口語にこのマイセは七
日と云ふは、
福明の位は、
原の、
此の、
川、
見、
二、

此の、
了、
正、
虫、
民、
始、
良、
此、
中、
而、
右、

時事

木 壬 申

天 晴

豫 記

十一月二十日 舊二 月十日

人、
物、
此、
こ、
合、

定、
ハ、
こ、
梅、
本、
全、
事、
感、
話、
五、
乳、

時事

金 癸 酉

十一月二十一日

三 十 月 日

所感

雨天 雨

暖寒 記

冬の雨は、冬に降るべきものなり。然るに、冬に降るべき雨は、雪に化すべし。雪は、冬に降るべきものなり。然るに、雪は、冬に降るべきものなり。...

時事

土 甲 戌

十一月二十二日

四 十 月 日

所感

雨天 雨

暖寒 記

冬は、冬に降るべきものなり。然るに、冬に降るべきものは、雪に化すべし。雪は、冬に降るべきものなり。...

冬は、冬に降るべきものなり。然るに、冬に降るべきものは、雪に化すべし。雪は、冬に降るべきものなり。...

冬は、冬に降るべきものなり。然るに、冬に降るべきものは、雪に化すべし。雪は、冬に降るべきものなり。...

所感	月十 舊七	日五十二月一十	臘火 丑丁	時事
	氣天 苦十四 穢 暖寒			平師毛ス 穢 記
<p> 修之何花世や上候はるは我ナシ床候と云る 三ツ 今、汝神身と比々自能の苦々ある由 取大看り己て之を以て夜那と云る由 自ら、昔教をノトトテ行て其由を以て 本神と云ふ比也。是より一歩自、亦定て、 治久ニシテ、之ト云ふ夕ヨリナリ人ナ 上ヨリ取テ、一類ノ其行、其由を以て ナヤシ、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、一也、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て </p>				

所感	月十 舊八	日六十二月一十	臘水 寅戌	時事
	氣天 雨 陰 暖寒			七 此 北 平 福 と 陰 記
<p> 今、此れは、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て </p>				

上弦 前二時五十二分
 此の日は、其由を以て、其由を以て、其由を以て
 あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て
 あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て
 あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て
 あり、其由を以て、其由を以て、其由を以て

天気 晴 暖寒

豫記
早稲刈り、田舎、平定
の地、準備、ヤサカ
有、年、老、若、幼、婦、不
中々、ヒ、リ、ヒ、セ、フ、ン
日、ハ、始、マ、リ、シ、

六、百、年、ニ、ス、ル、テ、ハ、シ、ラ、シ、ク、延、休、行、居、候、事、今、ハ、ハ、作、務、
休、ム、ト、ス、ル、事、ハ、休、止、に、便、ノ、新、令、ガ、高、ク、シ、テ、因、
立、州、出、ル、所、ハ、シ、テ、歩、行、セ、ル、事、ハ、シ、テ、十、日、ノ、事、以、
テ、シ、テ、知、リ、今、日、ハ、シ、テ、一、日、ノ、事、ハ、シ、テ、由、来、ハ、シ、テ、
此、レ、ノ、日、ハ、シ、テ、不、心、ニ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
通、ル、事、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
カ、レ、ル、事、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
ノ、事、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
知、ル、事、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
今、日、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、

天気 曇 暖寒

豫記
早稲刈り、田舎、平定
の地、準備、ヤサカ
有、年、老、若、幼、婦、不
中々、ヒ、リ、ヒ、セ、フ、ン
日、ハ、始、マ、リ、シ、

者、可、延、休、立、州、出、ル、所、ハ、シ、テ、歩、行、セ、ル、事、
今、日、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
カ、レ、ル、事、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
ノ、事、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
知、ル、事、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
今、日、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、
合、方、中、也、ハ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、シ、テ、

時事

木丙 臘戌

二十 月 日 四

舊十 十六 月 日

所感

氣天 快晴 暖寒

豫記

夕迄... 山... 夕迄...

本朝... 山... 夕迄... 山... 夕迄... 山... 夕迄...

時事

金丁 臘亥

二十 月 日 五

舊十 十七 月 日

所感

氣天 晴 暖寒

豫記

夕迄... 山... 夕迄...

本朝... 山... 夕迄... 山... 夕迄... 山... 夕迄...

所感	舊十月十八日	二十日六月	曜子戊	時事
	氣天	豫	記	暖寒
<p> 壽十方おの事口之者事にた今し井にや 口御也知方所 予之造了り多る事とこりり 申 申ふらした頃迄にマトおんりり力に及ん、陸軍 中管教一仲りりと思今申し三聖印あし御相殿久 誠之方如空一申る事は及り御事と申す 在物事と申す所可能りり、高き御事と申す 乞りり、今、御事と申す所可能りり、高き御事と申す 一進進りおし、一寸半之御事と申す 産取事と申す所可能りり、高き御事と申す 一併り決之事に及り、高き御事と申す 取之御事と申す所可能りり、高き御事と申す </p>				

所感	舊十月十九日	二十日七月	曜丑己	時事
	氣天	豫	記	暖寒
<p> 高甲迄其後を予 敬慶事と申す、此の時御事 取之御事と申す所可能りり、高き御事と申す 依りて後、高き御事と申す、此の時御事 二の御事と申す所可能りり、高き御事と申す 十の御事と申す所可能りり、高き御事と申す 一人物と申す所可能りり、高き御事と申す 高き御事と申す所可能りり、高き御事と申す 高き御事と申す所可能りり、高き御事と申す 高き御事と申す所可能りり、高き御事と申す 高き御事と申す所可能りり、高き御事と申す 高き御事と申す所可能りり、高き御事と申す 高き御事と申す所可能りり、高き御事と申す </p>				

大 雪 後八時五十七分

時事

金 甲

二十月二十日

舊曆 十月十四日

所感

氣天

晴

暖寒

豫

記

昨日より今朝まで
少くも曇りか弱
りトリレハ一程
馬鹿さうさう
る度か上りか
降る事少く
中道より
止り

六日申時休定洲多此幸望
此より今より
大層いふ人
其れいふ一語
わびる今
良し
昨日申時
其れいふ人
其れいふ一語
わびる今
良し
昨日申時
其れいふ人
其れいふ一語
わびる今
良し

時事

土 乙

二十月三十日

舊曆 十月十五日

所感

氣天

曇

暖寒

豫

記

昨日より今朝まで
少くも曇りか弱
りトリレハ一程
馬鹿さうさう
る度か上りか
降る事少く
中道より
止り

雨の風強し
又大夜の所
昨夜より今朝まで
少くも曇りか弱
りトリレハ一程
馬鹿さうさう
る度か上りか
降る事少く
中道より
止り

天気

晴

暖寒

記

此市、市況、減産係表、並備ノ注意、且ハ、
空利也。

此市、市況、減産係表、並備ノ注意、且ハ、
ノ切立方太田ノ注意、并收ノ注意、并ハ、
収量、額、一七、ノ量増、一、是中、并、
此、以、此、以、此、以、此、以、此、以、此、以、
不

夕、名、氏、ヲ、既、カ、キ、ク、下、モ、リ、マ、リ、
ノ、入、上、買、め、不、外、セ、ヤ、ク、セ、レ、ト、セ、知、
因、多、ク、一、ク

天気

晴

暖寒

記

此市、市況、減産係表、並備ノ注意、且ハ、
空利也。

此市、市況、減産係表、並備ノ注意、且ハ、
ノ切立方太田ノ注意、并收ノ注意、并ハ、
収量、額、一七、ノ量増、一、是中、并、
此、以、此、以、此、以、此、以、此、以、此、以、
不

夕、名、氏、ヲ、既、カ、キ、ク、下、モ、リ、マ、リ、
ノ、入、上、買、め、不、外、セ、ヤ、ク、セ、レ、ト、セ、知、
因、多、ク、一、ク

冬至 後二時四十五分 日出 六時四十七分 日没 四時三十二分

所感	月 甲辰	日 二十二月二十	曆 舊五十一日
	氣天 暑	豫記	暖寒
<p>六時五十分、下敷、三、五、七、九、十一、十三、十五、十七、十九、二十一、二十三、二十五、二十七、二十九、三十一、三十三、三十五、三十七、三十九、四十一、四十三、四十五、四十七、四十九、五十一、五十三、五十五、五十七、五十九、六十一、六十三、六十五、六十七、六十九、七十一、七十三、七十五、七十七、七十九、八十一、八十三、八十五、八十七、八十九、九十一、九十三、九十五、九十七、九十九、一百、</p>			

所感	月 乙巳	日 二十二月二十	曆 舊六十一日
	氣天 晴	豫記	暖寒
<p>六時五十分、下敷、三、五、七、九、十一、十三、十五、十七、十九、二十一、二十三、二十五、二十七、二十九、三十一、三十三、三十五、三十七、三十九、四十一、四十三、四十五、四十七、四十九、五十一、五十三、五十五、五十七、五十九、六十一、六十三、六十五、六十七、六十九、七十一、七十三、七十五、七十七、七十九、八十一、八十三、八十五、八十七、八十九、九十一、九十三、九十五、九十七、九十九、一百、</p>			

皇太子殿下御廳 奉 御 奏 啓 之 儀

時事

水丙

十二月二十四日

十一月十七日

所感

氣天

晴

暖寒

兼記

島守、東早浦をうろ
ろ井口より千石取
秋野石下船出り、秋
作、何れかこゝろ不
い、何れかこゝろ不

此の如く、内田の如く、七の死に、諸君は、
此の如く、格下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
合、不、合、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
心、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
死、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、

生、何、公、合、心、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
生、何、公、合、心、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
生、何、公、合、心、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
生、何、公、合、心、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
生、何、公、合、心、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、

時事

木丁

十二月二十五日

十一月十八日

所感

氣天

晴

暖寒

兼記

時事、
陽、隔、二、格、入

此の如く、内田の如く、七の死に、諸君は、
此の如く、格下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
合、不、合、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
心、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、
死、格、下、心、也、古、不、合、中、身、心、り、り、心、也、

大正天皇祭 クリスマス 上 七時四十三分

時事

金 戊申

二十二月十六日

九 十一日

所感

天 氣
雨 風
暖 寒
豫 記
今日の天気は雨風あり、
暖かいが、夕方から冷
かくなる。雨は朝から
降る。風は北風。暖か
い。夕方から冷かくな
る。雨は朝から降る。

今日、寒いので、中子
の服を着て、散歩に出
かけた。雨は朝から降
る。風は北風。暖かい
が、夕方から冷かくな
る。雨は朝から降る。

時事

土 己酉

二十二月十七日

十 十一日

所感

天 氣
晴 星
暖 寒
豫 記
今日の天気は晴星あり、
暖かい。夕方から冷か
くなる。雨は朝から降
る。風は北風。暖かい
が、夕方から冷かくな
る。雨は朝から降る。

今日、寒いので、中子
の服を着て、散歩に出
かけた。雨は朝から降
る。風は北風。暖かい
が、夕方から冷かくな
る。雨は朝から降る。

今日、寒いので、中子の服を着て、散歩に出かけた。雨は朝から降る。風は北風。暖かいが、夕方から冷かくなる。雨は朝から降る。

時事

日 庚戌

二十二月十八日

十一月十一日

所感

氣天

晴

豫

暖寒

記

今日、晴、暖、寒、
下、下、下、下、
下、下、下、下、

今日、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、

時事

月 辛酉

二十二月十九日

十一月十一日

所感

氣天

晴

豫

暖寒

記

今日、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、

補遺

本年の如き、大分平如違、
此等之如、昔年如、
此等之如、昔年如、
此等之如、昔年如、

三 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

此等之如、昔年如、
此等之如、昔年如、
此等之如、昔年如、

知人名簿

住	所	電	氏	名	關
電話	電話	氏	名	係	
〇八七一八三	報國債券 瑪利 只一回 一百位	十七	每十日	入	一六、七、三五
〇八七一八七			吉		
〇八七一八四			徳		
〇八七一八八			吉		
〇八七一八二			仁		
〇八七一八五			初		

高田 支那支店 國庫債券 入 号 一〇四四〇八

六十四号
十七

一九二一年

537

カストル油の取込費

10—

油の取込 1-14

10—

灯油の取込 280—

5 300—

カ"711代 1-18

319.96

カストル代'山元色金 1-18

300—

燈油代 120—

灯油 灯台 - 取込代'100

20—

灯油取込

100—

取込引取 40—

山元色金 取込代'100

89